

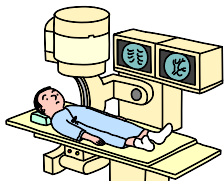




心房細動に対するカテーテルアブレーション5日用

退院基準	合併症の症状・所見がない					
経過	入院日	治療前日	治療当日(治療前)	治療当日(治療後)	治療翌日	退院日
月日	/	/	/		/	/
達成目標	身体的準備ができています			合併症の症状・所見がない 穿刺部に問題がない		合併症の症状・所見がない 穿刺部に問題がない 日常生活の注意点について理解できる
検査・処置	必要に応じてレントゲン、血液検査などを行います 冠動脈造影CTを行います(必要があれば薬を飲んでいただくことがあります) 退院まで心電図モニターを装着します 足の動脈に印をつけます(印は消さないでください)	経食道エコーを行います ※治療の時間は決まり次第お知らせします	<病室にて>治療時間までにお渡しする手術着、おむつ、弾性ストッキングに着替えて下さい 点滴の管、尿管を挿入します <検査室に入ったら>安全確保のために眠る薬と抑制帯を使用します 心電図を装着し、鼻から温度センサーを挿入します	ベッドで部屋へ戻ります 穿刺部(足の付け根)を止血するためにベルトを巻いて圧迫します 4~6時間後に医師がベルトをはずします	穿刺部に化膿止めの軟膏を塗ります 1日3回(朝、昼、夕)3日間使用して下さい	心電図モニターをはずします
内服薬	抗凝固薬、抗不整脈薬を中止します その他は通常通り内服して下さい(休薬があれば、お知らせします)		治療に行く直前に安定剤の内服をします	通常通り内服して下さい 必要に応じて薬が開始になる場合があります		
注射薬			検査室にて麻酔の注射をします	造影剤を使用するので水分を補うための点滴を行います 必要に応じて抗凝固薬の点滴をします 飲水と尿の程度により点滴を追加することがあります		
食事	いつも通り食事ができます	午後から経食道エコーがありますので 昼のみ絶食とします	朝と昼は絶食です 夕より食事を再開します 圧迫中は寝たまま食べてください	いつも通り食事ができます		
安静度	病棟内の歩行ができます 			止血を確認するまでは上向きで寝たままです 圧迫中の足は曲げないで下さい 止血を確認した後は状態によって安静度が変わります 圧迫解除後はベッド上で自由にできます	朝食後から病棟内の歩行ができます ※穿刺部に糸がかけてある方は抜糸をしてから歩行が可能になります	病棟内の歩行ができます 異常がなければ退院できます
排泄	トイレに行けます			排便は看護師介助の下ベッドの上で行います 尿管は入れたままです	尿管を抜きます その後はトイレに行けます	
清潔	シャワー浴をすることが出来ます				おしぼりで体を拭くことができます	入浴することが出来ます
説明・同意	化粧・マニキュアは落として下さい ~準備するもの~ ① 薬のみ又はストロー ② スプーン ご不明な点は主治医、看護師にお尋ねください		眼鏡・入歯・時計・指輪・ヘアピンなどの装飾品はすべてはずして下さい 造影剤を使用すると体が熱く感じる場合があります	水分摂取を心がけて下さい 胸部症状や吐き気などがあればお知らせ下さい	穿刺部の出血や腫れがあればお知らせください 	

* 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得ます
* 入院期間や治療内容は現時点で予想できるもので、症状により変わります